

2026

市民じんけん講座

気づきからつながるあなたとわたし

10月7日、14日、28日

11月4日、11日

いずれも

全5回講座（1回でも参加可能）

水

曜日

時間 13:30～15:30

受講無料 各回60人

大東市立市民会館3階中会議室

対象 市内在住、在勤、在学者

※多数の場合は連続受講者を優先

申込・問い合わせ先

☎ 072-870-0441

fax 072-872-2268

電子申請！



はびくる

※手話通訳・一時保育が必要な方は、9月18日【金】まで

中川 洋典



すとう ゆうこ



西村 寿子



文 公輝



久保 敬



「『僕は絵本の中で初めて出会った』
～絵本の取材で見た食肉業と差別～」

絵本作家・イラストレーター

中川 洋典(なかがわ ひろのり)氏

絵本の仕事で、職人と呼ばれる人たちに取材をする機会がありました。職場を訪問し、彼らの作業を見、言葉を聞き、スケッチをすること。それは私にとって、部落差別・職業差別について考える入り口になっていました。絵本を作ることで、人権学習の階段を一段ずつ歩んだお話をします。

第1回

October

7

第2回

October

14

「育ち合いから生まれる、いのちの物語」

心と言葉の伝え手・元放送局アナウンサー

すとう ゆうこ 氏

あなたが今、ここにいる、ということ。

今を、生きている、ということ。

それでいい、と今、思えること。

障害を持つ子どもの子育てを通して生まれた物語について、絵本の朗読を交えながら、お話をさせていただきます。

「メディア社会を生きる私たちとメディア・リテラシー」

NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所所長

西村 寿子(にしむら ひさこ)氏

メディア・リテラシーは、「これに気をつければ偽情報を見破れる」というようなマニュアルではありません。私たち市民があらゆる情報とその情報から生まれるイメージに対して自ら考え、行動する力です。では、自ら考えるとは？ということか。メディア・リテラシーの基本を学んで、「問い」を持って日常のメディアと付き合えるようになりましょう。

第3回

October

28

第4回

November

4

「ヘイトスピーチ解消法から10年ーレイシャルハラスメント・マイクロアグレッションから考える」

NPO法人多民族共生人権教育センター事務局長

文 公輝(むん ごんふい)氏

日本初の反人種差別法が制定されて10年。日本における人種差別問題の現状と課題をお話しします。同時に、10年で約1.7倍に増加し、地域社会の一員として生活している外国人住民との共生をすすめるためのキーワードである、レイシャルハラスメント・マイクロアグレッションについても考えます。

「誰のための、何のための学校か?!

～子どもの学ぶ権利を考える～」

公益社団法人全国人権教育研究協議会事務局員/元大阪市立小学校校長

久保 敬(くぼ たかし)氏

日本が「子どもの権利条約」を批准してから32年。2024年には、やっと「こども基本法」もできました。しかし、不登校児童生徒数は35万人以上、12年連続で増え続けています。教員不足も深刻な問題であり、公教育は危機的な状況だと言えます。子どもが育つために、本来、学校とはどうあるべきなのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

第5回

November

11